

令和4年度 第5次総合計画施策評価シート【年度初め用】

担当部署	都市整備課		
------	-------	--	--

基本目標	4 みんなで“活かす”～住み続けられる・魅力あるまちづくり～
施策	18 下水道

施策の方向・内容		具体的な事業内容
1	公共下水道事業の健全な経営	地区説明会や広報誌及びホームページなどによる下水道事業の啓発活動を行い、接続助奨による接続率の向上に努める。また、経営安定化のため、受益者負担金及び下水道使用料の収納率向上を図りつつ、翌年度の経営戦略に向け将来の改築更新や人口減少を踏まえた適正な下水道使用料の見直しについて調査研究をする。
2	公共下水道(汚水)の整備	下水道供用開始区域の拡大を行い、快適な生活環境の確保と河川等の水質保全を図る。
3		
4		
5		
6		

めざそう値・指標名	指標の定義	基準値(H28)	実績値				
		目標値(R04)	H30年度	R元年度	R02年度	R03年度	R04年度
1 公共下水道整備率	公共下水道の全体計画面積に対する整備済面積の割合 (%)	31.3	35.6	36.9	37.9	38.8	
		39.6	○	○	○	○	
2							
3							
4							

前年度の評価を踏まえた今年度の課題
令和3年度の接続助奨は、高齢化のため老人ひとり住まいの世帯が多く将来的な不安や経済的理由により思う様に成果が出ていない。経営戦略基本計画に基づき、全県域汚水処理構想の見直しを行い、将来的に収支バランスのとれた健全な下水道事業の自立した経営に向けた計画を進めていく。受益者負担金については、早めの督促により目標収納率を確保できた。今後も滞納者に対しては、早め早めの督促を行う必要がある。

前年度の評価を踏まえた今年度の改善策・方針
下水道への接続については、補助金制度の創設を検討するが、近隣市町の状況、公平性等課題は多い。受益者負担金については、早め早めの督促を引き続き行う。下水道経営の安定要素に下水道使用料の確保があるので、近隣市町の見直し方針の聞き取りを調査をし翌年度の経営戦略策定に向け計画していく。